

婦人と子ども

大正五年三月一日
第十六卷 第三號

亞米利加幼兒教育視察談

東洋幼稚園長 岸邊 福雄

——(フレイベル會二月常集會に於ける講演)——

私が米國に参りましたのは、甚だ突飛で何の用意もなく参りました。ざつと云ひますと、箆を持つて水を汲みに行つた様なもので、水は澤山ありました。汲むことも澤山汲みましたが、皆漏つてしまひまして、わづかに箆をぬらしたばかりです。それも、もう日が立ちましたのでだいぶ乾きました。もし少しの濕つた分だけ今日のお役に立てばよいと思ひます。

觀ましたのは、幼稚園、小學校、女學校、日曜學校、子供の繪本、玩具、運動場、芝居、活動寫眞、托兒所、孤兒院等でしたが、何れも十分にわか

らず、誠にお恥かしいことでした。従つて系統的にお話することが出来ませんが、たゞ觀て廻りました道の順でお話いたしました最後に、サンフランシスコで、モンテツンリー先生にお目にかかつてお話を伺つたことをお話しさせよう。

○容易く出来る亞米利加視察

私は十月にあちらへ参りました。それについて特に申上げて置きたいのは、あちらへ参る事が大層容易であるといふとであります。第一、費用がかゝらないこと、第二、英語がそんなにいらぬこと。

第三、風土が日本と同じで、御馳走がいたゞけてすべてがごく簡單で、太平洋沿岸を視察いたしますには、一日、日本の金の五圓で旅行が出来ます。船賃が往復一回で二百五十圓、(留學生ならば二割半引かれるから、それと同じ割合として)三十日旅行すると百五十圓、それに汽車賃が百圓、合せて五百圓で行つてこられます。内地の旅行や滿韓の旅行もよいが、全然風變りの地方をみた方更に有利でありますから出来ることなら一度行かれることをおすゝめます。歸つてきましてから、皆さんにきかれますと、何もみないといひますが、本當はくすぐつたい様に思はれます、實際は觀ないといつても實はいろんなものをみたのであります。東京府で本年は視察の爲に三千圓の豫算が立て、あるさうですが、それを小學校の校長に三百圓づつ十人にあげて、不足は其推薦に當つた人が足すとなりましたら一人や二人でみるよりも、十人で二十の眼でみた方がよいと思ひます。英語を知つて

居れば長い期間には役に立つてせうが、一寸みる位の時には知らなくても大したちがひはありません。私は英語の數を十位しか知りませんでした。私の連れになつた人は、十二三しかわかりませんでした。それでも大丈夫旅行が出来ました。それは向うにある日本人に泣きつくのです。一番はじめにシャトルにつく日に「アスツクムカヒニキ テクレタノム」とシャトルの領事に電報を打つて頼んで置きましたら、その方のお子さんを一寸私の幼稚園におあづかりした事があつたばかりの關係でありましたに、それでも迎ひに人を遣はして下さつて、よくきたとほめて下さいました。よくきたといふ意味は、今まで来る人といへば、大臣だの大將だの頭取だの社長だのと、あたま株の人のみであつて、手足ともいふべき人が来るのが少なかつたからでもあります。それから領事が私人の案内をして下さつたり、都合の出来ない時には同僚の方を頼んで案内をさせて下さいました。

○幼い時から獨り立ち

船の中で面白いと思つたのは三歳位の西洋人の子供でした。お母さんと一所に甲板に出て遊んで居りましたが、どうも自由自在なものでした。とん／＼とそこから中驅けまはつて遊んで居ました。そしてお母さんは平氣で放任して心配さうにもしませんでした。同じく日本の婦人が同年位の子供を連れて遊ばせて居らるゝのを見て居りますと、もう／＼お母さんが心配で／＼、一足歩くとそら危い二足行くとそらころぶとよとひどく焦慮して居られるのでした。なるほど見て居るとお母さんが心配せられる通り危つかしい足もとでした。私は彼等の教育の仕方といふやうな事をよほど考へさせられました。米國へついでから孤兒院に参りまして三十人ほどの赤ん坊が寝かせてありますのを見ましたが、どの子供も泣きません。たまたに泣きまですとついで居る人がおしめを取りかへてやり

ます。ざりすると直に靜になつてしまひます。そして獨り遊びをして居るのです。あの時分から獨立して居るのです。それから同船中の西洋人の教育家のお嬢さんでしたが六歳位のが私の前に坐つて玩具の道具を出して、コップに水を入れて遊んで居ましたのが食事の鈴がなると直に玩具をかたづけました。之れだけならば何でもありませんが、やがてコップの水は一方へうつして、一方を空にしておいて出て行きました。私は傍で見て居てつくづく感心しました。一人で方づける、仕末をするといつて、之れ以上のことはありません。こゝでも實に萬事が徹底的であるといふ暗示を興へられるやうな氣が致しました。

○子供の姿勢、行届いた衛生

設備

甲賀藤子女史のお仕込みになつた幼稚園では足さきの練習をよほどやつて居られるやうでした。

まあ歩く事の練習なのです。これは姿勢をよくするといい事もありませんし、品よく歩くといふ事もありません。私も船に乗つて、歩く時にどん／＼と音がして如何にも不作法であると気がついた時は實に恥しい思ひが致しました。それから私は毎日階梯を上つたり下りたりする稽古を致しました。むかうでは子供が足先きで歩く事を學んで居りますから少しも音を立てずに歩く事が出来ます。姿勢も非常にゆつたりとして居ります。幼稚園でも保育室で、足を組むのも他見をするのもありません。が、雑談が嚴禁せられてありますから静肅です。幼稚園の建物はどうか、設備はどうかといふ事になりますとそんなに變つた事はありません。建物は非常に頑丈に出来て居て、柱が太く天井が高く如何にも落ちついてしつかりしたものです。衛生の設備は實によく備ふた者です。飲用の水なども、ネヂをひねればぽつ／＼と恰度口にはいる位づゝ飛び出て来るやうな仕掛けになつて居ります。

汽車の中でもローピキのコップがありましてそれで水を飲んですめば一度々に捨てるやうに出来て居りました。幼稚園でも手拭のかはりに手拭ひ紙がそなへつけてありました。

○ゆつたりと強く

モンテッソニー女史の事を上陸早々聞いて見ますと、シヤトルでは「名前は聞いて居りますが、これは低能兒の教育法でありませう」といふ位な簡単な挨拶を得たゞけでした。當地で黒んぼと亞米利加人と支那人と日本人四色を入れて居る幼稚園がありました。「日本の子供の頭はどうですか」と尋ねて見ますと、「よろしい」といふ答でした。どんなによろしいかと聞きかへすと、黒んぼよりは、支那人よりはよいと云ふ事でした。私は日本人の頭は西洋人に譲らないと信じて居ります。しかし、徹夜で勉強するとかいふ場合になると、二晩三晩の競争には堪へられますが、四晩五晩六晩となつ

ては、どうも残念ながら敗北するさうであります。體力が弱い之れは致し方のない事實でありませう。體力を今少し練磨しなくてはなるまいと切に感じたる事も御座いました、體操ばかりが體育ではありません。日本の學校では體操の仕方は如何にも立派ですが、それつきりで別に體育に注意して居るやうに見えませぬ。體操の時間だけが體育のやうな心持ちになつて居ります。むかうのでは體操の時間の外に活潑に運動をするものですから、何だか體操の時間は遊び半分のやうです。西洋人の精力のつくといふ事についていろ／＼考へさせられました。西洋人は七曜を數へる時に、日曜日を先きにします。はじめ一日を休んでおいてから、残りの六日をはたらく、即ちはたらく爲めに休むのですが、日本人のは六日をはたらいで残る一日を遊ぶといふ事になつて居ります。遊ぶ爲めに働くといふ風に見えます。此心持の相違はなかく／＼輕る／＼しく看過すべからざる事でありませう。

それにつけ思ひ出しますのは、電車を横切るので、よく見て居りますと、むかうの人はゆつ／＼と立つて電車の通り過ぎるのを待つてそれからさつさと歩いてゆきますが、日本人は慌て、電車の前を駆けぬけて、それから安心したやうにぼつ／＼と歩いて居ります。

米國へ行つた日本人の話を聞きますと、米國は暮し易い處だ、一日はたらけば二日休める。一ヶ月はたらけば二ヶ月休めるといふ。老年に及んで樂をする爲めに若い中にはたらくといふは日本人の哀れな風習であります。西洋人は働くといふ事が主なのですから、ゆつ／＼大きく永久にはたらいて行きます。此國民性の相違も私はつく／＼と考へた事でありました。

○のんびりと鷹揚に

今一つはあちらの子供がどんなに大きく育てられて居るかといふ事を適切に見せつけられる事が

ありました。午後の二時頃町を歩いて居りますと、小學校の一年位のお嬢さんが袋に入れた菓子を食べながら歩いて居ました。私は試みに「ブリース」と云つて、お嬢さんの前へ手を出して見せました。さうするとお嬢ちゃんは無邪氣な顔をして私の顔を見上げて、袋のまゝ私にさしだしました。此袋から幾つでも取れよとの意味であります。私は驚きました。仕合せがよかつたら一つか二つつまんでもらへるものと思つて居たのに、袋のまゝ差し出された大きな心持に驚かされました。そして之れだけ見ただけでも今度旅行に來た甲斐があると思ひました。一つだけ有難く頂戴して紀念に持つて參りました。

シャトルの方では出産届を出しますと、區役所で育児の注意書のやうなものをくれる事になつて居ります。私も参考の爲めに二三もらつて參りました。ひまにまかせて雑誌か何かのにのせて見たいと思つて居ります。

○シカゴ

シャトルを去つてシカゴでは幼稚園、小學校、大學とついで居るのを見ました。建物はあまり大きくはありませんでした。二十幾人かを一組として、嫁婦が三人かゝつてやつて居られました。子供の取扱ひ方は、私共と別に大差があるとも思ひませんでした。お辨當をいたゞいて居る處を見ましたが、それは何とも云へない可愛いものでした。ミルクとスープの熱いのを一杯先生から順にいたゞいて、芝生の上や木の蔭や好きな處へ行つてお辨當をいたゞくのです。木の上から栗鼠が下りて來るとバンを投げてやつて居りました。

東京の子供は物を多く知つて居て困るのに、まだ幼稚園で教へ込んで食傷をして病氣になるといふやうな把憂を聞かれる方がありますが、米國の子供は日本の大人よりも智識をもつて居るのに、まだ教へて居るのですから、明日にでも死んでし

まいさうな者ですのに、なか／＼死にさうであり
ません。私はあちらで、電車に乗つて腰をかけると
ぼうつと下の方が暖かくなるので不思議な事に思
つて居りました。小學校へ參觀に参りました時、先
生が此事を生徒に質問して居られました。そして
小さな子供が立つて、「あれは電氣の熱が利用して
あるので腰を下ろすと兩方の電氣が相通じて熱が
起るやうになつて居るのです」と云ひました。これ
で私をはじめ合點が参りました。之れについて
思ひ出しますのは、青島占領の當時、我軍が入城し
ました時、獨逸の子供が之を見て、あれは何砲、
これは何銃々と術語を用ゐて説明して居るといふ
話です。此の事を私に語つた軍人が「これだから獨
逸はなか／＼油斷がならない」と云ひました。

此間、新聞に幼稚園反對論が出て居たやうでし
たが、苟しくも人が眞面目にやつて居る事を批評
する時にはよい方面とわるい方面とをあげて眞面
目に批評すべきであつて、ひやかし半分といふや

うな態度は甚だ好ましくない事と思ひました。そ
して智識を持ち過ぎるといふやうな説は全く無意
味な事と思ひました。

それから、子供の病院を見ました。慈善病院です
がなか／＼立派なものでした。立派と云ふよりは
清潔でした。入院兒の母親は乳を飲ませに來るだ
けで一切は看護婦が世話をして居りました。なほ
りかけの子供には、幼稚園の先生がお伽噺をしに
來ておりました。日本にこんな病院が出來たら、私
も話をしに行きたいと思ひました。三階の上の屋
根部屋に赤ん坊がねかせてありました。どうして
ですかと聞いて見ますと、「かうして外の空氣にあ
てたり、日光にさらしたりしてやりませんと、皮膚
が弱くていけませんから」と云はれました。シカ
ゴではおもちや繪本を見ました。おもちやは十二
三種買つて参りました。鐵のものなどは一寸困り
ますが、木製のもののは、どうか日本でも作つて用
ゐたいものと思つて居ります。又幼稚園の教授細

目も出来て居りました。私も一部求めて参りましたが、いづれ何かの方法でお目にかける時があらうと思つて居ります。はじめに書いてある事を見ますと、此細目は舟の碇のやうなものである、何もかも之によつてしると云ふのではない。碇を一つ投じておいて舟が自由にその範圍内で運動するが如く、細目を中心としてせよと云ふので即ち參考にせよと云ふのであるといふ事でありました。私は此説に如何にも感心致しました。

ナイヤガラの瀑布ではその雄大に驚きました。面白い話ですがポストンで新夫人を迎へると、どの學校出身かと聞くさうですし、ニューヨークでは持參金はいくら？ ワシントンでは系圖はどうといふのださうです。ポストンは學問地なのでこの學校も皆立派なものやうでした。

○ニューヨーク

後にニューヨークに出ましたが、こゝで托兒所

を見ました。托兒所といふ處は、勞働者や貧民の子供があづけられて居るのですから、さぞ汚い處であらうと想像して居りましたが、處がすつかり反對でありました。エレベーターに乗つて二階へ上る仕掛けになつて居りました。一室には生後三ヶ月から一年までの赤ん坊が、白い清潔な上着をきてねて居りました。そして一番下が子供を受取る場所になつて居りました。そこには醫者が居て、一々子供の健康診斷をして、健康なだけ預る事にしてありました。之を見て、如何にも私共のぞんざいなやり方が恥かしくなりました。それから又生徒が三千四百名ある大きな小學校で、火事の練習を見せてもらひました。主任の机の側のベルを三つ押せと云ふ事でしたから私が押しました。さうすると各教室から子供が列を作つて迅速にさつさと出て來ました。そして三千何百人の子供が少しの狂ひもなしに隊伍をとゝのへて校門を出て、街路を横ぎつて向ふ側に整列しました。其間二分

四十五秒でした。その時二階の窓から米國の國旗をふつて合圖をしますと直に子供は歸つて來て靜に授業につきました。時間は前後合せて十分でした、月に二回以上させるといふ事でした。私は歸朝後早速之を實行致して居ります。

○モンテツソリー女史と會見

サンフランシスコの大博覽に出してモンテツソリー女史の主管せられて居る幼稚園を見ました、私はどうも要領を得ませんでした。如何にも低能兒教育ではないかといふ疑問さへ起りました。子供は靜にく／＼して居りました。顔色は神經衰弱のやうに見えました。笑顔は一つもありませんでした。そして欠伸もありませんでした。私はローサンゼルスにて貰ひ受けて居ました紹介状を保母に出して、モン女史にお目にかゝりたいと申しますと、今日四時から五時迄に講演があるから聞きに行つてはどうと云はれました。そこで私は行きました。

婦人が二百人位と、男が十四五人來て居りました。

女史はでつぷりと爲つた髪の毛の黒い、一寸見ると日本人と眞違ひさうな婦人でした。年齢は四十五六歳位に見受けられました。明晰な聲をもつて居られました。徹底するやうな聲でした。講演の後でお目にかゝりたいと云ひますと、今日は一寸都合がわるいから、いづれ時日を定めてといふ事でした。それから、期定の日には宅へといふお許を受けて、其時刻に出かけてゆきました。私は「先生にお目にかゝる光榮を得た事を有難く存じます」と云つて、それから、私は或は失禮な事をお尋ね致しますかもしれませんがお許しいたゞけませうかと訊ねますと「私はあなたが詰問するのではな

いと思ふから、何とも思ひません」と云はれました。次に「時間はどれ位いたゞけませうか」と申上ますと「いくらでもあげます」と云はれました。「私はあなたの幼稚園の子供はあんまり靜過ぎるやうに思はれますが」と云ふと「私はあれがよい

と信じて居るから、あゝさせて居るのです」と云はれました、次に「子供に笑顔の少いのはどういふわけ?」「あれは心の中で愉快して居るのであつてお祭騒ぎのやうに表面にあらはれないだけです」「欠伸のないのは」と問ひますと女史は私の顔をはつと見なほして「あなたは子供が疲勞すると思ふのか」と云はれました。そして、「あれは子供が好きな事を自由にして居るのであるから疲勞を感じないので」と云はれました「先生は四歳半迄の子供の玩具を御備へになつて居るやうですが、此の上に作られる積りか」「作らない積りである、只だ花園を作くらせたいと思ふ」

「しからはフレール派の主義と、先生の主義と

はどう違つて居りますか」「フレール派は理屈から割り出して、いろ／＼の事にあてはめたので演繹的であるのに、自分の種々の材料を勝手に取扱はせてをいて、それを統一して來る即ち歸納的である」との事でありました。

それから「どなたか、先生のお弟子が日本へいらつしやりはしませんか」と問ふと「ミス、クラインが行く事になつて居る」と答へられました。

ミス、クラインは只今小石川のブラツクマホームに來て居られます。そしてあの派の幼稚園教育を實際に施されると聞いて居ります。

(筆記、文實在記者)

京阪神幼稚園の視察

麴町小學校長 土川 五郎